

令和2年9月市議会定例会 一般質問

個別質問答弁書

質問第20号

池上 喜美子

議員

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

| 質問通告番号第 | 20 | 号 | 質問議員 | 池上 喜美子 | 議員 | 担当課 | 人権男女共生課 |
|--|----|---|------|---|----|-----|---------|
| 質問要旨 | | | | 答 弁 | | | |
| 1 新型コロナウイルスの感染症対策についての質問 | | | | ① 現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染への不安や恐れから、感染した方や医療従事者、その家族等に対する心無い差別やいじめといった事態が生じており、市としても大変重く受け止めています。 | | | |
| (1) 差別・偏見・いじめの防止対策について | | | | | | | |
| ア 新型コロナウイルスの感染が長期化する中で、連日の報道では、「正しく恐れよ」の「正しく」が抜けており、市民がいつまでも恐れや不安を抱くことで、感染者やエッセンシャルワーカー、その家族などに対する差別や偏見、いじめへとつながる事態は絶対に防がねばならない。このため、いじめの被害者や加害者にならないための対策は急務であるが、現状をどのように把握しているか。また、防止対策にどのように取り組んでいるか。 | | | | ② 具体的に市に寄せられた相談には、社員が感染しているとの噂から、会社への電話口で暴言を吐かれた、近所に県外在住者がいるので、外出しないように言ってほしい、また、県外ナンバー車に乗っているが、駐車場でタイヤを蹴られた、といった内容のものがああります。 | | | |
| | | | | ③ こうした誹謗中傷は、感染へのいたずらな不安から生じることが多いため、これを防止するには、国や県、市が発信する正確な情報に基づいて現状を正しく理解すること、さらには、不安を感じたら一度立ち止まって自分自身を見つめ直し、相手の立場に立ってみることが重要であると考えています。 | | | |
| | | | | ④ 市では、ホームページや広報うえだ、公民館だより、公民館主催の人権講座、 | | | |

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

| 質問通告番号第 | 20 | 号 | 質問議員 | 池上 喜美子 | 議員 | 担当課 | 学校教育課 |
|--|----|---|------|---|----|-----|-------|
| 質問要旨 | | | | 答 弁 | | | |
| 1 新型コロナウイルスの感染症対策についての質問 | | | | ① 市内の学校では、現在のところ、新型コロナウイルス感染症に起因する差別・偏見・いじめに関する事例はありません。 | | | |
| (1) 差別・偏見・いじめの防止対策について | | | | | | | |
| ア 新型コロナウイルスの感染が長期化する中で、連日の報道では、「正しく恐れよ」の「正しく」が抜けており、市民がいつまでも恐れや不安を抱くことで、感染者やエッセンシャルワーカー、その家族などに対する差別や偏見、いじめへとつながる事態は絶対に防がねばならない。このため、いじめの被害者や加害者にならないための対策は急務であるが、現状をどのように把握しているか。また、防止対策にどのように取り組んでいるか。 | | | | ② 市内の全小中学校においては、朝の会や授業の他、校長講話など、あらゆる場面で感染症に関する正しい知識を身につけるよう指導してきました。また、毎日、検温して体調を確認したり、友達と距離をとる予防行動がなぜ必要なのか、子どもたち自身が納得し、行動に結びつくよう指導しています。 | | | |
| | | | | ③ 感染症に関連し、いじめなどにつながる行為は決して許されるものではありません。闘うべきはコロナ自体です。 | | | |
| | | | | ④ 誰かを傷つけるような言葉や行動はせず、相手の立場になって思いやりをもって行動していくことを徹底し、児童生徒、保護者、学校、行政が一体となって、差別・偏見・いじめが生じることがないように、しっかりと取り組んでいきます。 | | | |

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

| 質問通告番号第 | 20 | 号 | 質問議員 | 池上 喜美子 | 議員 | 担当課 | 人権男女共生課 |
|--|----|---|------|--|----|-----|---------|
| 質問要旨 | | | | 答 弁 | | | |
| 1 新型コロナウイルスの感染症対策についての質問 | | | | ① シトラスリボンプロジェクトは、コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にして発足した愛媛県の有志グループが進めるプロジェクトです。感染された方や医療従事者が、それぞれの地域で受け入れられる雰囲気をつくるために、シトラスリボンを身につけたり、専用のロゴを貼ることで、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す、思いやりのある社会を目指そうとする市民運動で、趣旨に賛同した人や企業が、自発的に参加、発信することができるものです。 | | | |
| (1) 差別・偏見・いじめの防止対策について | | | | ② 新型コロナウイルス感染症の先の見えない不透明さに不安が増幅している中、差別という行為は、更なる不安の連鎖を助長するものです。こうした状況を打開するため、「シトラスリボン」は、目に見える形として訴えられるシンボルとして、差別的言動に同調せず、差別に対しては声をあげていくことを想起させる有意義なものであると認識しています。 | | | |
| イ 先月、市民有志が知事に対し、新型コロナウイルスの感染者や医療従事者等の差別をなくすための運動として、シトラスリボンプロジェクトの普及活動の推進を申し入れたところ、積極的に取組に応じる姿勢を示したが、上田市も県と連携して、シトラスリボンプロジェクトの普及活動に取り組む考えはあるか。 | | | | ③ 県では、上田市のNPO法人からの申し入れにより、このプロジェクトの趣旨に賛同し広めていく準備を行っているとのこと。上田市としても、県と | | | |

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

| 質問通告番号第 | 20 | 号 | 質問議員 | 池上 喜美子 | 議員 | 担当課 | 健康推進課 |
|---|----|---|------|---|----|-----|-------|
| 質問要旨 | | | | 答 弁 | | | |
| 1 新型コロナウイルス感染症対策についての質問 | | | | ① コロナ禍により、ステイホームなどの生活環境の変化や感染者の連日の報道等の影響から、閉塞感や不安感を抱く方も増加していると思われます。 | | | |
| (2) コロナ禍におけるメンタル支援について | | | | | | | |
| ア コロナ禍により、メンタル不調を訴える人が出ている状況にあるが、次の項目についてどうか。 | | | | ② こうした方々を含め、市では、保健師による面接・電話相談等の健康相談を随時受け付け、市民に寄り添った対応を心がけるとともに、必要に応じて、精神保健福祉士による「こころの相談」にお越しいただくなどの対応を行っています。 | | | |
| (ア) 市民から医療機関などへ行った相談状況 | | | | | | | |
| はどのように把握しているか。また、対策は行っているか。 | | | | ③ 今年度、これまでの相談数自体は大きな変化はありませんが、相談内容として、すでに医療機関を受診されている方からの相談は増えている状況であり、コロナに対する不安感が、特に精神的に不安定で影響を受けやすい方には、広がっている印象があります。 | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | ④ 精神的に不安定な方々に対しては、相談内容や状況を丁寧にお聞きした上で改めてかかりつけの医療機関への受診をお勧めするとともに、必要に応じて、 | | | |

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

| 質問通告番号第 | 20 | 号 | 質問議員 | 池上 喜美子 | 議員 | 担当課 | 学校教育課 |
|---------|--|---|------|--------|----|-----|--|
| 質問要旨 | | | | 答 弁 | | | |
| 1 | 新型コロナウイルスの感染症対策についての質問 | | | | | | ① 長期にわたった臨時休業や、学校の再開による新たな環境、生活の変化などにより、児童生徒は表面上では元気そうに見えても、何らかのストレスが心と体にかかっていると考えられ、不安を抱えていないか、絶えず丁寧に見守っていく必要があります。 |
| | (2) コロナ禍におけるメンタル支援について | | | | | | |
| | ア コロナ禍により、メンタル不調を訴える人が出ている状況にあるが、次の項目についてはどうか。 | | | | | | ② このため、市では、5月追加補正において、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しながら、各校に配置している心の教室相談員等の勤務する時間数を増やすことをお認めいただき、よりきめ細かな対応をしてきました。 |
| | (イ) 子どもたちのメンタル不調の状況と対策はどうか。 | | | | | | ③ 学校再開後の6月、7月に、心の教室相談員が勤務した時間の実績は、前年度の同月と比較すると、ともに約1.3倍の時間数となっています。 |
| | | | | | | | ④ 相談内容としては、学習の遅れ、生活リズムの乱れ、無気力、長い間友達と会えなかった不安などが目立ち、教育委員会としても心配しているところです。 |

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

| 質問通告番号第 | 20 | 号 | 質問議員 | 池上 喜美子 | 議員 | 担当課 | 総務課 |
|--|----|---|------|--|----|-----|-----|
| 質問要旨 | | | | 答 弁 | | | |
| 1 新型コロナウイルスの感染症対策についての質問 | | | | ① コロナ禍における職員のメンタルヘルスについては、日々の業務に加え、3密の回避や定期的な消毒など、職場における感染防止対策にも注力している状況ですが、コロナ禍に起因して、メンタルの不調を訴えている職員はいないものと認識しています。なお、その他の理由により、心身に不調をきたし、7日を超えて療養している職員は、令和2年9月1日現在で8人になります。 | | | |
| (2) コロナ禍におけるメンタル支援について | | | | ② 職員のメンタルヘルス対策については、ストレスチェックの実施や個別研修会の開催などにより、職員の心身の状況を把握するとともに、産業医、産業カウンセラーや担当保健師による個別相談を必要に応じて行っており、引き続き職員の心身の健康管理に取り組んでいきます。 | | | |
| ア コロナ禍により、メンタル不調を訴える人が出ている状況にあるが、次の項目についてはどうか。 | | | | | | | |
| (ウ) 市職員のメンタル不調の状況と対策はどうか。 | | | | ③ これまでに市内で多くの感染者が報告されている状況を踏まえて、職員が安心して職務に専念できるよう、メンタルヘルス対策に加え、マスクの着用や体調不良の際の慎重な行動など、引き続き職員における感染拡大防止を図り、市民サービスの継続的な提供を確保していきたいと考えています。 | | | |

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

| 質問通告番号第 | 20 | 号 | 質問議員 | 池上 喜美子 | 議員 | 担当課 | 健康推進課 |
|---|----|---|------|--|----|-----|-------|
| 質問要旨 | | | | 答 弁 | | | |
| 1 新型コロナウイルス感染症対策についての質問 | | | | ① 市では自殺予防対策として、門番の役割である「ゲートキーパー」について、啓発のため単発で行うゲートキーパー研修を平成22年度から、また、実践のため複数回のコースで行うゲートキーパー養成研修を平成27年度から | | | |
| (2) コロナ禍におけるメンタル支援について | | | | それぞれ実施しています。ゲートキーパー研修では約1,600人、養成研修 | | | |
| ア コロナ禍により、メンタル不調を訴える人が出ている状況にあるが、次に項目について | | | | では約180人が受講しています。 | | | |
| どうか。 | | | | | | | |
| (エ) 市民や市職員のゲートキーパー養成の状況 | | | | ② 養成研修では、20代から80代までの様々な年齢の方、学校関係者や企 | | | |
| はどうか | | | | 業関係者、民生児童委員、健康推進委員など幅広い立場の方に受講いただき、 | | | |
| | | | | うち市職員は、これまでに16人が受講しています。 | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | ③ 市職員のゲートキーパー養成については、ひきつづき養成研修の受講を勧 | | | |
| | | | | めるとともに、研修の機会を広げていくことも検討していきます。 | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

| 質問通告番号第 | 20 | 号 | 質問議員 | 池上 喜美子 | 議員 | 担当課 | 健康推進課 |
|--|----|---|------|---|----|-----|-------|
| 質問要旨 | | | | 答 弁 | | | |
| (オ) メンタル不調を予防するために、内閣府の自殺予防ゲートキーパープログラムに採用されている「メンタルヘルス・ファーストエイド」を市民に広く啓発してはどうか。 | | | | ① 「メンタルヘルス・ファーストエイド」とは、メンタルヘルスの問題を有する人に対して適切な初期支援を行うための、「判断や批判せずに話を聞く」「安心と情報を与える」「適切な専門家のサポートを得る」などの5つのステップからなる行動計画で、専門家の支援が提供される前にどう行動すべきかの対処法を身に付けるプログラムです。 | | | |
| | | | | ② この5つのステップにつきましては、ゲートキーパー養成研修の研修内容に考え方とともに取り入れています。 | | | |
| | | | | ③ 人とのつながりが得られにくいコロナ禍では、身近な人同士がお互いに認識しあい支えあうことが、より重要です。 | | | |
| | | | | ④ 身近な人などがメンタル不調の状況に直面した場合に、適切な初期支援を行うことが大切であり、こうした基本的な対応について、より多くの市民の方に知っていただくことがメンタルヘルスの土台を支えることにつながることを踏 | | | |

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

| 質問通告番号第 | 20 | 号 | 質問議員 | 池上 喜美子 | 議員 | 担当課 | 保育課、子育て・子育て支援課 |
|--|----|---|------|--|----|-----|----------------|
| 質問要旨 | | | | 答 弁 | | | |
| 1 新型コロナウイルスの感染症対策についての質問 | | | | ① 保育所については、性質上、就労している保護者のお子さんをお預かりする施設であり、感染の予防に留意した上で原則開所しています。 | | | |
| (3) 保育や子育て現場で働く人への慰労金の支援について | | | | ② 保育現場では3密を避けることが難しい中で、手洗いや手指消毒、保育室の換気の徹底や、遊具の消毒などはもちろんのこと、給食の時間には対面での食事を避けるために、横に並んで座ったり、スペース的な余裕がない場合には衝立を利用するなどの工夫をしています。 | | | |
| ア 全国保育協議会等の調査では、9割の保育士等がストレスの要因として、新型コロナウイルス感染症対策が続く中で、3密を避けることができず、子どもや保護者に感染リスクがあることを挙げるなど、保育現場従事者の心身の負担が増している。感染リスクの中で職責を果たすための献身的な姿勢に報いることは重要であることから、一部の自治体では従事者に対して独自の応援金や慰労金を支給しているが、市の考えはどうか。 | | | | ③ 子育て支援センターや子育てひろばなども同様に、手洗いや手指消毒、換気の徹底や、施設や遊具の消毒を1日数回行うなど、適切な感染防止対策を行ったうえで開館しています。また、施設を利用される方には、体調確認を行い、安心して過ごしていただけるよう努めています。 | | | |

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

| 質問通告番号第 | 20 | 号 | 質問議員 | 池上 喜美子 | 議員 | 担当課 | 保育課、子育て・子育て支援課 |
|---------|----|---|------|--|----|-----|----------------|
| 質問要旨 | | | | 答 弁 | | | |
| | | | | ④ コロナ禍の中、日々徹底した感染予防対策が求められており、職員は従来にも増して時間をかけ、細部にわたって点検・確認を行う一方で、いつ自分が感染するかもしれないリスクの中で保育に従事している状況にあります。 | | | |
| | | | | ⑤ このような状況は民間の保育所でも同様であり、3密を避けることが難しく、日々対策をとっていてもリスクを避けられないのが現状の中で、保育にあたられていることに頭が下がる思いです。 | | | |
| | | | | ⑥ 応援金や慰労金の支給については、保育従事者等に報いる一つの方策と考えますが、市独自の事業として実施するには財源の確保などが課題であり、市全体の新型コロナウイルス感染症対策などの取組を含めて、総合的な判断をする必要があることから、現段階では難しいものと考えています。 | | | |
| | | | | ⑦ 国は「子どもの重症化リスクは必ずしも高くはない」とし、保育現場は慰労金の対象から除外していますが、今後もこのような感染症対策を求められる | | | |

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

| 質問通告番号第 | 20 | 号 | 質問議員 | 池上 喜美子 | 議員 | 担当課 | 秘書課 |
|--|----|---|------|--|----|-----|-----|
| 質問要旨 | | | | 答 弁 | | | |
| 1 新型コロナウイルスの感染症対策についての質問 | | | | ① 現在、上田圏域の感染警戒レベルが4に引き上げられ、特別警報が発令されており、こうした事態を大変重く受け止めています。 | | | |
| (4) コロナ禍での市長の姿勢について | | | | | | | |
| ア 現在、上田圏域の感染警戒レベルが4という危機的な状況のため、市長のリーダーシップが問われる時であるが、多くの市民から、「記者会見では緊迫感が感じられなかった」、「クラスター発生現場への巡回は何を意図して行ったか」、「広報車で広報は高齢者には聞こえない」、「子どもから高齢者、障がい者などあらゆる市民に届く情報発信に努めてほしい」との意見が上がっている。 | | | | ② これ以上の感染拡大を食い止めなければならない、医療従事者や日常生活を支える皆様の負担を軽減しなければならないという強い思いで、国や県、関係機関等と連携して感染防止や事業者支援など様々な対策に取り組んでいます。 | | | |
| このため、全職員が一致団結して難局を乗り越えるための姿勢を示すことで、市民に影響を与えていく必要があるのではないか。9月 | | | | ③ ご質問の中で例示された市民の方のご意見については真摯に受け止め、今後の姿勢や取組に活かしていかなければならないと考えています。 | | | |
| | | | | ④ 市民の皆様には、これまでも感染防止対策の実施と感染予防の徹底に多大なご協力をいただいておりますが、感染拡大を防ぐためには、やはり、市民一人ひとりの継続的な感染予防の取組が不可欠です。 | | | |

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

| 質問通告番号第 | 20 | 号 | 質問議員 | 池上 喜美子 | 議員 | 担当課 | 秘書課 |
|--|----|---|------|--|----|-----|-----|
| 質問要旨 | | | | 答 弁 | | | |
| 定例会の市長提案説明では、「市民に感染防止の取組を要請していく」との発言があったが、具体的にどのように要請していくか。コロナ禍を市民とともに乗り越える決意はどうか。 | | | | ⑤ このため、市民や飲食店の皆様には、基本的な感染予防策などについて、よりわかりやすく、丁寧にお伝えすべく、私自ら上田駅前で、また、動画配信、広報紙、ホームページやSNS、チラシの配布、ラジオなど様々な手段や機会を捉え、広報・啓発活動に取り組み、市民の皆様をお願いしていきます。 | | | |
| | | | | ⑥ 先の見通せない新型コロナウイルスとの闘いの中、市民一人ひとりが、感染拡大防止のため「新しい生活」を実践していただいていることに心より感謝申し上げます。また、医療の最前線で従事されている皆様、市民の日常生活を支えていただいている全ての皆様に対し、改めて敬意を表するとともに感謝申し上げます。 | | | |
| | | | | ⑦ 市としましても、この間、新型コロナウイルス感染症にいち早く対応するため、組織改正や5月、7月の臨時会、また、今定例会の初日にも対策関連予算を議決いただくなど、スピード感を持って取り組んできました。 | | | |

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

| 質問通告番号第 | 20 | 号 | 質問議員 | 池上 喜美子 | 議員 | 担当課 | 秘書課 |
|---------|----|---|------|--|----|-----|-----|
| 質問要旨 | | | | 答 弁 | | | |
| | | | | <p>⑧ さらに、国、県、医療機関、及び関係団体などと緊密に連携しながら、私自ら先頭に立ち、事あるごとに庁内の対策本部会議を開催し、全庁体制でこの難局を乗り越えるべく取り組んでいます。</p> | | | |
| | | | | <p>⑨ 「with コロナ」とも言われる中で、新しい生活様式の定着を図っていくためには、引き続き、市民の皆様のご理解とご協力が欠かせません。特にこれからは台風シーズンやインフルエンザの流行の時期を迎えますので、こうした点にも充分配慮しながら取り組んでいく必要があります。</p> | | | |
| | | | | <p>⑩ 新型コロナウイルス感染症の一刻も早い収束は市民の願いであります。</p> <p>今後も「上田のまちを守る」そして、市民を守るため、感染防止と社会経済活動の両立、また、差別や偏見のない社会づくりを目指し、職員一丸となり、緊張感を持って全力で取り組んでいきますので、市民の皆様、また、議員各位のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。</p> | | | |